

# 平井金山城跡(藤岡市)

築城年代:永享10年(1438年)、築城者:長尾忠房

前方の小山に平井金山城跡が展開する/北西方向を見たところ



ここが駐車場となっており、この先から登城する





駐車場には色々な説明板が立っている



かろうといわ

上が北方向/「物見台跡」→「三の丸」→「二の丸」→「本丸跡」→「腰郭」→「空堀」→「五段削平」→「井戸曲輪」→「櫓門跡」→「櫓岩」方面へと進んでみよう

けれども関東平安の願いは遂に成  
最後の管領となった上杉謙信の頃  
もはや此の要害が役立たぬ世となり  
も栄枯一朝の夢と消えてしまった。  
城本丸跡にたたずみて往事を弔えは  
るに名歌、荒城の月の哀調を聴く感  
られてならない。

解説 渋谷竹堂





周辺には沢山の城跡があるようだ



# 関東管領 金山城址公園案内図



**もし道に迷ったら**

- 道が狭いところ、道やのにぶらぬき道端の安全な場所へ避難してください。
- 途中で避難する場合は車道とから2m以上離れて道が狭くなるまで戻りに行ってください。



さて、ここを進む



赤い矢印がある



少し進むといきなりこんな石垣があった



更に進む/案内板が立っていて分かり易い



ここにもある



徐々に登り坂になる





ここにも案内板が立っている





主郭(本丸跡)まで約600mとある/少し平坦になっている



するとここにもこんな石垣がある



こんな感じ



更に登って行こう



これだけ案内板があると心強い



ここを右手に折れて登って行く



こんな感じ



更に左手に折れる/実は右手の上は「物見台跡」





坂を登り切ると説明板が立っているのが見える/ここは「物見台跡」への虎口



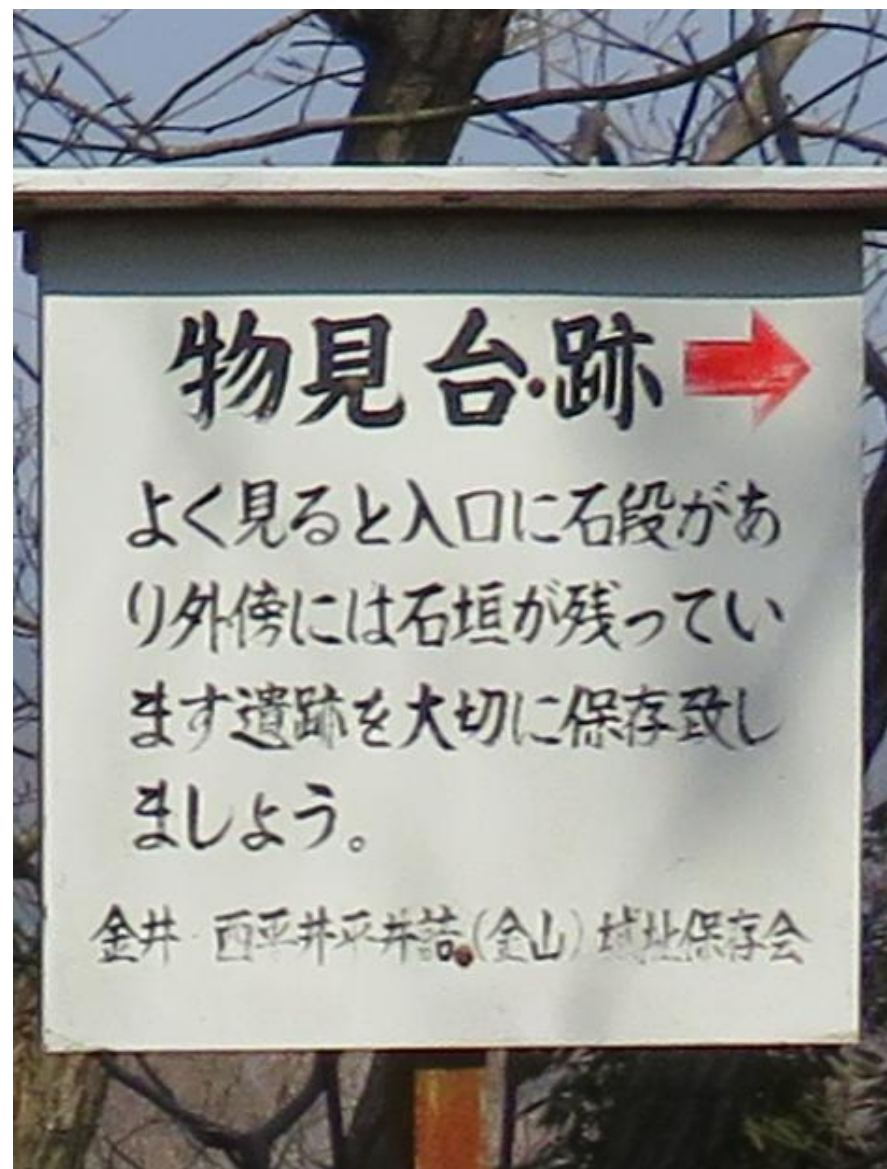
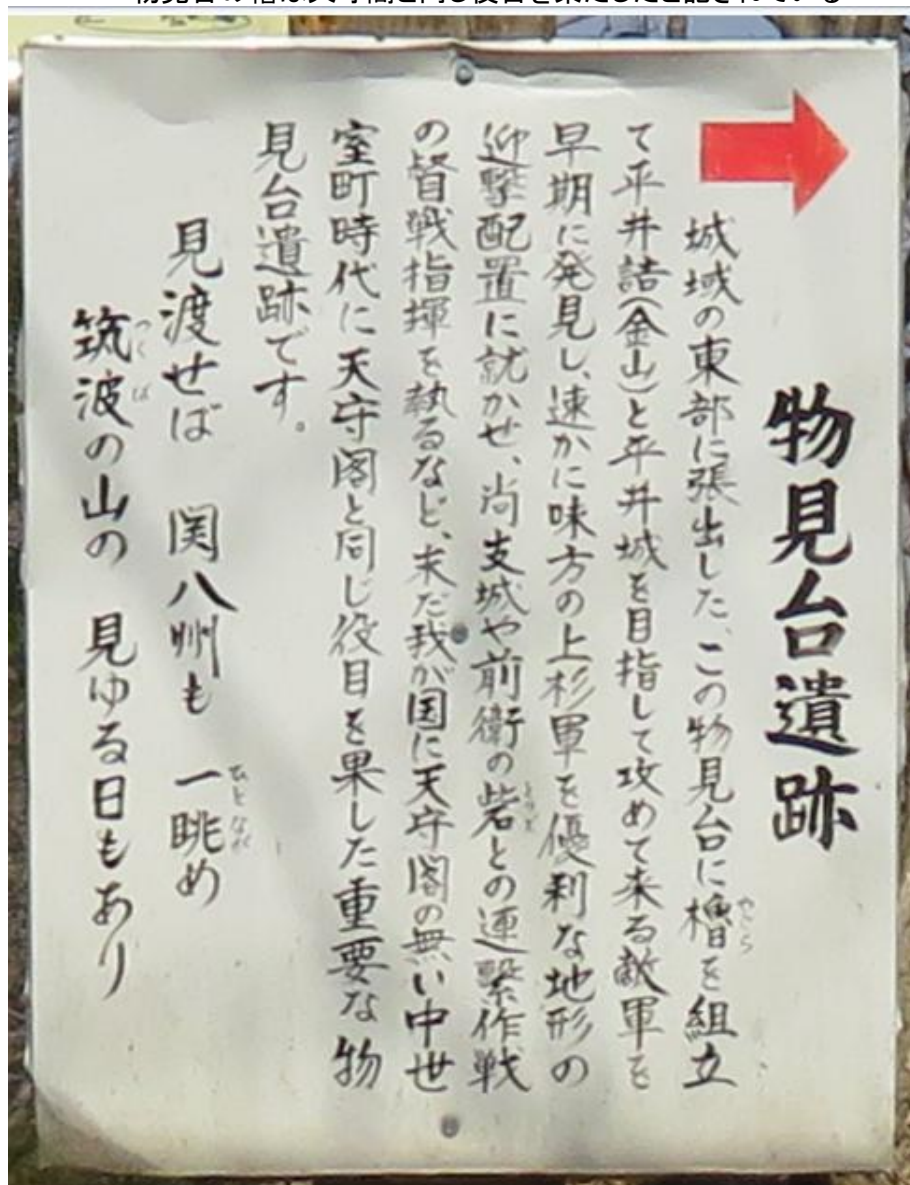


← 登城

さまざまな説明板がある



物見台の櫓は天守閣と同じ役目を果たしたと記されている



これが物見台跡入口の石段と石垣



前方が物見台の櫓があった辺り



ここが物見台跡



そこから遠景を見たところ/平井城方向か





振り返って入口方向を見たところ



改めて物見台跡入口の石段と石垣を見たところ



さて、ここから西方向の三の丸へと進もう



正面に堀切がある



標柱が立っている



「攻撃を防ぐため、尾根つづきを遮断する目的で掘られた空堀」と記されている



こんな感じ



別の角度から





さて、更に西方向へ進むと上の段への虎口がある



「城や曲輪の出入口「小口」ともいう」と記されている



上の段に登って東方向を見たところ/右手が虎口



振り返って西方向を見たところ/左手が虎口



そのまま西方向へ進むと右上にマウンドが見える



これはそのマウンドの手前まで上ったところ



マウンド(左手)を右手に廻り込んでみる



その先はこんな感じ





さて、マウンド上に登る



これはマウンド上から、先程マウンドを廻り込んだ所を見下ろしたところ



これはそのマウンド上から振り返って西方向を見たところ/この先の平場が「三の丸」



三の丸へと進む/前方に説明坂が立っている





清水刻字岩  
千井(金山)城に勤務した  
城下の飲用井水など、清水  
の湧き出し所とみす道し  
入岩でナ  
遊跡を大切に保存しま  
しょう。  
西三井 五井 金山 山崎 山崎 山崎

山つじの花を  
取らないで下さい。

これが「清水刻字岩」/城兵の飲料用水など、清水の湧き出す所を示す道しるべ岩



さて、三の丸を更に西方向に進もう



前方に標柱が見える





この辺りは「三の丸」とこの先にある「二の丸」との間の帯曲輪のようだ/「曲輪群の外側を細長く取り囲んだ曲輪。同じような曲輪で小さな平坦面を設けたものを腰曲輪という」と記されている



これは振り返って三の丸方向(東方向)を見たところ



さて、二の丸方向(西方向)へと進もう



この辺りが二の丸/前方にも説明坂が立っている



これはもう一度振り返って東方向(帯曲輪方向)を見たところ



さて、二の丸にもさまざまな説明板がある/前方の坂を登って行った所が「本丸跡」





平井金山城は平井城の「詰城」である







現在地

さて、いよいよ本丸跡へ登ってみよう



これはそこで左手を見たところで、ここが堀切状になっているのが見て取れる



本丸跡手前にも標柱(右手)が立っている





そこで振り返って見たところ



ここが本丸跡/説明坂のオンパレード/西方向を見たところ



南西方向を見たところ





北東方向を見たところ



北方向を見たところ



開東管領  
金山城址公園案内図



**もし雷に遭遇したら**

- 雷が降ってきたら、直やかに雷避け身元と安全な場所へ避難してください。
- 建物で避難する場合は半分以上以上離れて雷が降こえなくなるまで避難に伏せてください。



右手は狼煙か



支城  
上杉氏に属した  
北方の主な支城

高崎市  
倉賀野城 9.0km  
城主 倉賀野三河守行成

高崎市  
和田(高崎)城 12.4km  
城主 五口兵衛行景

前橋市  
総社(蒼海)城 21.8km  
城主 長尾景虎  
群馬総社

群馬郡  
箕輪城 21.5km  
城主 巨野松平景勝  
群馬

北群馬郡  
白井城 36.5km  
城主 上杉景元  
子持村

国領

# 上杉氏に属した 西方の主な支城




- |                    |                              |        |
|--------------------|------------------------------|--------|
| 吉井町<br>多比良<br>上杉家跡 | <b>新堀城</b><br>城主 多比良豊後守友定    | 3.2km  |
| 吉井町<br>松田<br>牛伏山頂  | <b>一郷山城</b><br>城主 安部中務尉之友    | 3.8km  |
| 吉井町<br>長根          | <b>長根城</b><br>城主 小林統前守重勝     | 6.8km  |
| 甘泉町<br>白倉          | <b>白倉城</b><br>城主 藤原白倉佐衛門     | 8.4km  |
| 甘泉町<br>小堀          | <b>国嶺城</b><br>城主 小堀尾孫守(家系)信定 | 12.4km |

## ←子王(室敷)山城

国領中區山上(約山)西渡  
室敷代(山城)見張台を兼ね  
併呑し中心とした小城です  
標高は550.8メートルです  
上杉謙信の母千秋女(信濃)子  
子の上杉謙信は豊後守(家系)  
と伝えられています



東管 上杉氏に属した  
東南方の主な支城 

約1000m 北  
約1000m 北  
城主 高山 近江守 定重 1.0km

約1000m 北  
約1000m 北  
城主 夏目 豊後守 定基 3.4km

約1000m 北  
約1000m 北  
城主 真下 伊豆守 吉好 7.6km

約1000m 北  
約1000m 北  
城主 大石 石見守 定重 7.0km

約1000m 北  
約1000m 北  
城主 夏目 豊後守 定基 12.2km

約1000m 北  
約1000m 北  
城主 上杉 定重 扇形城 19.7km



いやはや沢山の支城がある



さて、本丸跡の南側に大石垣遺構への案内板がある





平井詰(金山)城本丸跡  
南面の大石垣遺構

見学通路 

貴重な山城の遺構です大切に致しましょう。

金井 西平井 山城跡保存共同作業体

南面に下って行く



これが大石垣遺構



これはそこから南下を見たところで、この下には一寸した平地があるように見える



さて、本丸跡から更に西方向を見ると、一段下の「腰郭」に休憩所があった



これは休憩所の辺りから振り返って本丸跡方向を見たところ





これは休憩所の先から更に西方向を見たところ



そこから振り返って東方向を見たところ



更に西方向はここから下っている



その先はこんな塩梅



先にある平場に下り切ったところ/ここも腰郭と云ったところであろうか



そこで振り返って今下りてきた所(右手の階段)を見たところ/左手に行くと本丸跡の左手から北方向にある「櫃岩」方面へと繋がる



この平場を更に西方向に進む



その先はこんな感じで急峻な斜面となっていた





そこから振り返って東方向を見たところ



さて、二の丸まで戻って本丸跡(左手)の右手から北方向にある「櫃岩」方面へと進んでみよう/ここも腰郭と云ったところであろうか



本丸跡(左手)を廻り込んで行くと左手に標柱があり、右手に折れる通路がある/ここをまっすぐ進むと先程の腰郭下の平場に至る



ここは虎口



振り返って今来た方向を見たところ/左手が北方向にある「櫃岩」方面



これはその「櫃岩」方面への道から振り返って虎口を見たところ/前方の上は本丸跡



振り返って「櫃岩」方面を見たところで、右手にも標柱がある/ここは堀切を渡る土橋



「土を盛り突き固めた橋。堀に設けられる橋は、敵の攻撃を防ぐため、橋の幅が狭い。」と記されている





土橋を渡って振り返って見たところ/前方は腰郭と本丸の城壘



これは「堀切」と記された標柱



その標柱の所から堀切と土橋を見たところ



さて、「櫃岩」方面へ進もう/前方右手にも標柱がある



「尾根や傾斜地を一部削平または造成し平坦地をつくり、土塁や柵で囲み、居を構えた所」と記されている



空堀状になっている所もある



前方に進むに従って少しずつ下っていく



何段かの削平地(平場)になっている





これは少し進んで振り返って見たところ



更に進む



更に一段下がった平場には行き先表示がある/行き先表示の矢印に従って右手に進むと「櫃岩」方面のようだ



まずこの平場の右手に廻り込んでみよう



ここを進んで行く



ここも堀切と土橋となっている/前方にも休憩所がある





土橋を見たところ/左手に標柱がある





「堀切」と記されている



振り返って堀切を見たところ



土橋を渡って振り返って見たところ



ここが休憩所のある平場



これは休憩所の先



その更に先はこのように急峻な崖となっている



振り返って見たところ



また、この平場の左手には標柱があって、下って行った所には説明坂が立っている





ここは井戸曲輪のようだ



ここが井戸跡





## 井戸跡について

この井戸跡は、金山城跡の保存整備事業に伴って平成9年度に、発掘調査が行われました。尾根上からの深さは3m程あり、東西に長い四隅に丸みのある長方形をしていました。主に岩盤を掘ってつくられ、掘り出された土砂や小さな岩盤片を南側の低い部分に埋め高くし、尾根側にむき出した岩盤の上には、掘り出された大きな岩盤片が積まれ、土砂が崩れ落ちることを防いでいたと推定されます。岩盤面には割ろうとして残された「矢」の痕もみられました。

この井戸は湧水が少ないため、臨戦時においては水が運び込まれ、一時的な「水場」として使われたと考えられます。

なお、この尾根に面する沢は「井戸沢」と呼ばれていたとも伝えられ、この尾根部は「井戸曲輪」と名付けられました。



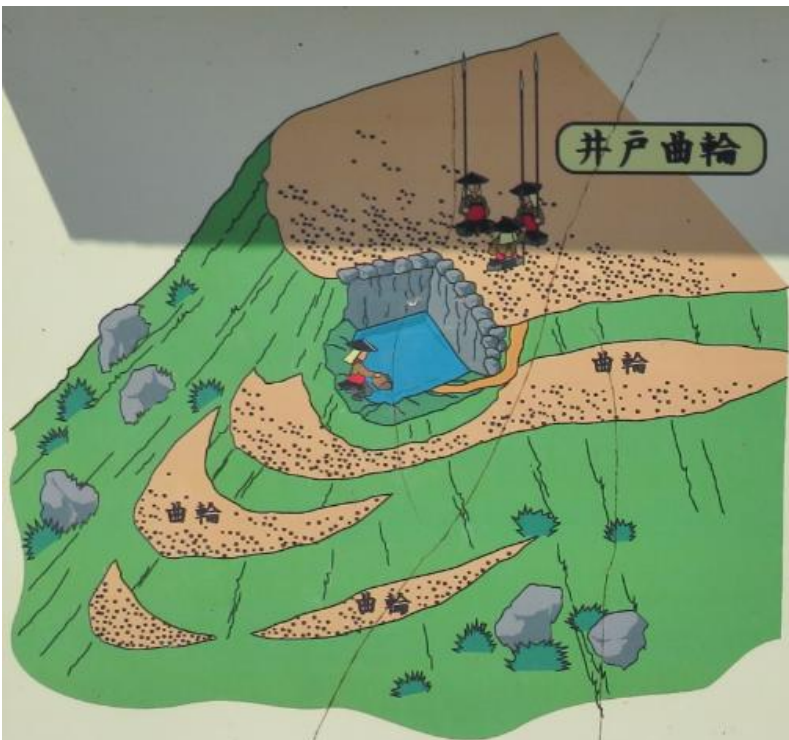
発掘調査状況・北側より撮影



発掘調査状況・南側より撮影



発掘調査前の井戸跡



井戸曲輪

曲輪

曲輪

曲輪

### 雷に遭遇したら

- 雷が聞こえたら、速やかに避難小屋など安全な場所へ避難してください。
- 屋外で避難する場合は木などから2m以上離れて雷が聞こえなくなるまで地面に伏せてください。



正面から



横から



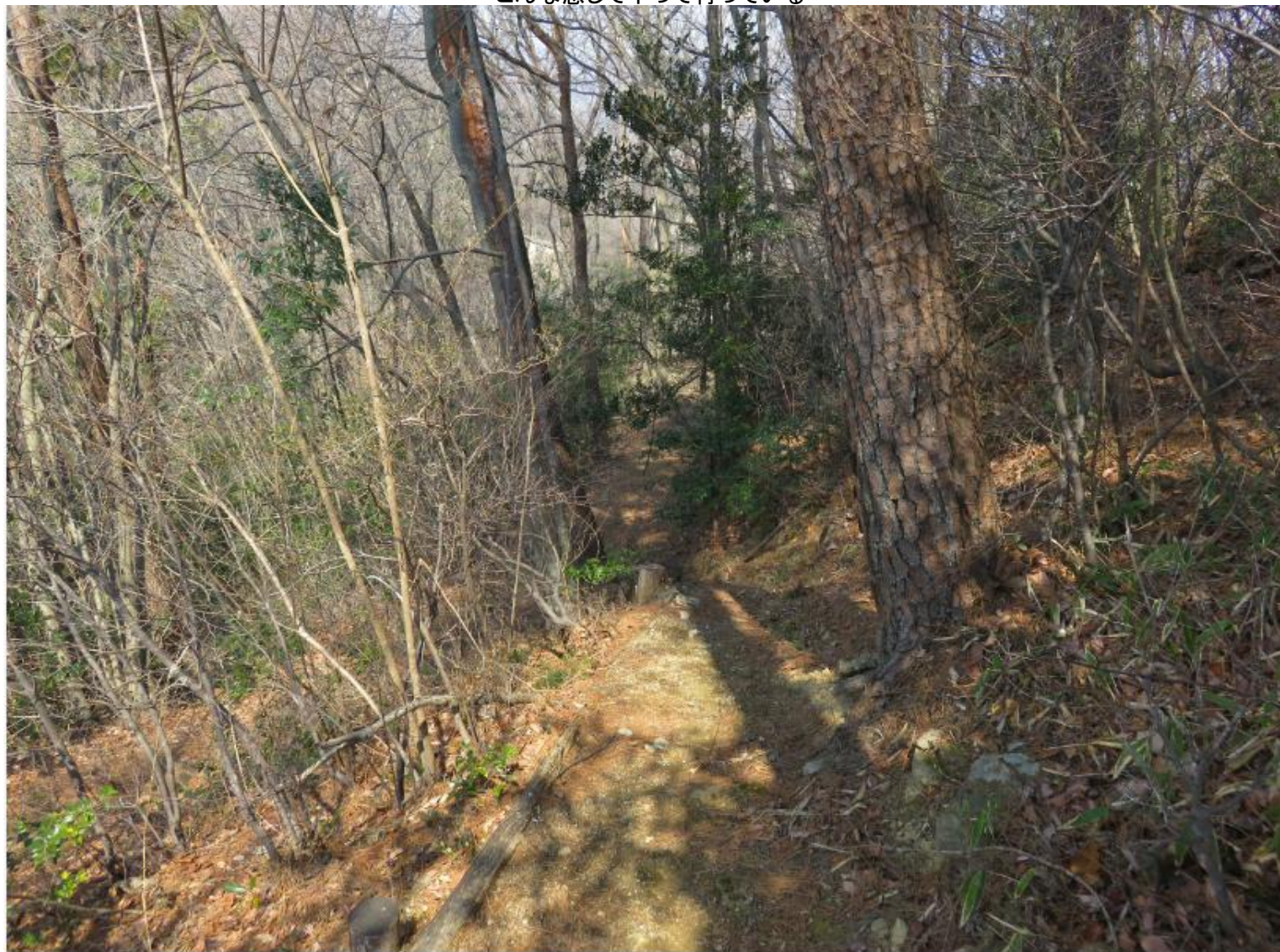
これが岩盤面を割るための矢の痕跡



さて、井戸の先はどうなっているのだろう



こんな感じで下って行っている





さて、いよいよこの平場から「櫃岩」方面へ進んでみよう



こんな所を進んで行く



ここを右手に折れて進む



更に進む



堀切がある



土橋を渡って更に進む



すると堀跡があり、標柱も立っている



これは堀跡を渡る土橋で、この先も北方向に続いている





これは堀底に下りて東方向を見たところ/石積みもある



こんな感じ



ここは櫓門跡のようだ



堀跡は左手に廻り込んでいる



廻り込んだ所にも石積みがある



こんな感じ



さて、堀跡の土橋を渡って更に北方向に進む



ここもそれなりの平場になっている





その先はこんな感じで下って行く



そこから振り返って見たところ



北方向はこんな感じで下って行く



左手に下りて行ってみる



こんな塩梅



そこを下りた所から振り返ったところ/手前は大きい堀切であろうか



さて、先程の堀跡まで戻って、左手に廻り込むと石積みのあった所から北方向に進んでみよう



するとこちらにも大きい堀切がある





その堀底を右手から左手方向に見たところ



向こう側はこんな感じ



その先は急激に下り落ちている



振り返って見たところ



堀底を左手から右手方向に見たところ



これは大きい堀切を越えて、振り返って来た方向を見たところ



さて、更に北方向へ進むと前方に「櫃岩」が見えてきた/その右手には表門跡があるというが



これが「櫃岩(かろうといわ)」





横から見たところ



少し進んで振り返って見たところ



これは来た方向を見たところ/左手が「櫃岩」



これは「櫃岩」の上に登って来た方向を見下ろしたところ



これはそこで更に北方向を見たところ/この先に大手門跡があるようだが



前方はゴルフ場になっているようだ



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/004gunma/129hiraikanayama/hiraikanayama.html>

<http://yogokun.my.coocan.jp/gunma/hujiokasign.htm>

<http://umoretakajo.jp/Shiro/Kantou/Gunma/Hirai-Kanayama/>

[http://castle.slowstandard.com/10kanto/17gunma/post\\_565.html](http://castle.slowstandard.com/10kanto/17gunma/post_565.html)

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/jyoukan-gunma/hirai-kanayama-jou-fujioka-gunma/hirai-kanayama-jou-fujioka-gunma.html>

<http://zyousai.sakura.ne.jp/mysite1/fuzioka/hiraikanayama.html>

[http://gi001.gokenin.com/tanbou/10\\_gunma/09\\_tano/005\\_fujioka/033\\_hirai\\_kanayama/hirai\\_kanayama.html](http://gi001.gokenin.com/tanbou/10_gunma/09_tano/005_fujioka/033_hirai_kanayama/hirai_kanayama.html)

[http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meiyou/10\\_Gunma/hiraikanayama/index.html](http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meiyou/10_Gunma/hiraikanayama/index.html)

[http://53922401.at.webry.info/201505/article\\_18.html](http://53922401.at.webry.info/201505/article_18.html)

